

Nice滞在記 ～*Observatoire de la Côte d'Azur* からの展望～

理学系研究科物理学専攻 博士課程2年 岡部泰三

2017年10月3日から11月3日までの期間、フランスのニースにあるコートダジュール天文台所属 Peirani Sébastien 氏のもとに滞在し共同研究を行った。Peirani 氏は宇宙流体シミュレーションの専門家で、現在世界最高レベルの水準である Horizon シミュレーションを行ったグループの一員である。

滞在中は、銀河団内のダークマター分布、銀河分布、ガス分布から予測される銀河団を楕円と近似した時の主軸の向きと、中心銀河の向きの相関に関する議論を行った。結果として中心銀河と銀河団の向きの相関を定量的に評価することで、将来観測に対してのガイドラインとなる成果を得た。

コートダジュール天文台では惑星、重力波、観測機器、銀河等の幅広い分野において研究が盛んである。またお昼時には天文台のほとんどの人が敷地内にあるレストランに集まり、食事を食べながら会話を楽しむ。だからこそ幅広い研究分野を一望でき、分野間のシナジーも生まれているのだろう。

今回の海外派遣をサポートしてくださった ALPS 関係者のみなさま、また現地の天文台のみなさまに深く感謝いたします。特に滞在中3回も自宅に招いて頂くなど Peirani 氏およびその家族の方々には感謝しても仕切れない思いです。



コートダジュール天文台からの眺め。海岸と街を一望できる